

松原・下釜・大山ダムとともに水害に強い地域づくりを考える意見交換会

<第4回>

日時：令和6年6月3日（月）15時00分～

場所：日田市役所 本庁舎7階 大会議室

<WEB配信有り>

次 第

1. 開 会

2. 挨拶 筑後川ダム統合管理事務所 事務所長
意見交換会 委員長
日田市長

3. 出席者紹介

4. 議事

- 1) 令和6年5月19日緊急放流サイレン吹鳴訓練の報告
- 2) 大山ダムにおける防災に関する取組
- 3) 意見交換
- 4) 流域治水プロジェクト2.0について
- 5) 情報提供

5. 閉会

「松原・下釜・大山ダムとともに水害に強い地域づくりを考える意見交換会」規約

(名称)

第1条 本会は、「松原・下釜・大山ダムとともに水害に強い地域づくりを考える意見交換会（以下「意見交換会」という。）」と称する。

(目的)

第2条 本意見交換会は、水害から地域にお住まいの方の生命や財産を守る立場から、筑後川（大山川）及び赤石川の出水に対する、松原・下釜・大山ダムの洪水調節状況やその効果等について、様々な視点から意見交換する。この意見交換会での検討により、地域防災力の更なる向上を図る。それと合わせて、ダム下流の河川環境の現状や課題についても意見交換し、よりよい河川環境の創出に繋げていくことを目的とする。

(構成)

第3条 本意見交換会は、別表に掲げる者（以下「委員」という。）によって構成されるものとし、委員は筑後川河川事務所長若しくは筑後川ダム統合管理事務所長が委嘱し、非常勤とする。

2 委員長は、必要に応じて、委員の増員及び専門家、オブザーバー等の招集を行うことができる。

(意見交換会)

第4条 本意見交換会には、委員長を置く。

2 委員長は、意見交換会を代表し、会務を総括する。

3 委員長は、委員の互選によってこれを定める。

4 委員長が意見交換会に出席できない場合は、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

5 本意見交換会は、委員長が招集する。

(事務局)

第5条 本意見交換会の事務を行うため、事務局を国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所及び筑後川ダム統合管理事務所に置く。

(雑則)

第6条 この規約に定めるもののほか、意見交換会の運営に必要な事項は、委員長が意見交換会に諮って定める。

(付則)

この規約は、令和4年3月30日から施行する。

令和4年12月19日一部改正。

松原・下笠・大山ダムとともに水害に強い地域づくりを考える意見交換会

委員名簿

	氏名	現職名	備考
1	小松 利光	九州大学 名誉教授	学識者 委員長
2	山田 誠	鹿児島大学 名誉教授	学識者
3	鶴成 悦久	大分大学 教授	学識者
4	椋野 美智子	日田市 市長	地元自治体
5	諫山 浩	日田市住民代表（おおやま北部自治会長）	大山振興局
6	菅原 義博	日田市住民代表（おおやま中央自治会長）	大山振興局
7	横田 秀喜	日田市住民代表（おおやま老松自治会長）	大山振興局
8	岩里 文雄	日田市住民代表（おおやま西峰自治会長）	大山振興局
9	長尾 善太郎	日田市住民代表（おおやま都築自治会長）	大山振興局
10	黒川 今朝光	日田市住民代表（おおやま烏宿自治会長）	大山振興局
11	矢幡 俊典	日田市住民代表（おおやま清流自治会）	大山振興局
12	中嶋 繁	日田市住民代表（おおやま南部自治会長）	大山振興局
13	増井 秀信	日田市住民代表（出口自治会）	天瀬振興局
14	松原 喜美子	おおやま南部自治会	大山振興局
15	柿本 真次	大山すみいい会 事務局長	大山振興局
16	石和 徹也	大分県 日田土木事務所 所長	河川管理者（赤石川）
17	平山 周作	独立行政法人 水資源機構 筑後川局 局長	ダム管理者（大山ダム）
18	塚原 隆夫	国土交通省 筑後川河川事務所 事務所長	河川管理者（筑後川）
19	宮本 浩	国土交通省 筑後川ダム統合管理事務所 事務所長	ダム管理者（松原・下笠ダム）

（事務局）

国土交通省 筑後川河川事務所

国土交通省 筑後川ダム統合管理事務所

松原・下笠・大山ダムとともに水害に強い地域づくりを考える意見交換会

出席者名簿

	氏名	現職名	備考	出欠
1	小松 利光	九州大学 名誉教授	学識者 委員長	出席
2	山田 誠	鹿児島大学 名誉教授	学識者	出席
3	鶴成 悦久	大分大学 教授	学識者	出席
4	椋野 美智子	日田市 市長	地元自治体	出席
5	諫山 浩	日田市住民代表（おおやま北部自治会長）	大山振興局	出席
6	菅原 義博	日田市住民代表（おおやま中央自治会長）	大山振興局	出席
7	横田 秀喜	日田市住民代表（おおやま老松自治会長）	大山振興局	欠席
8	岩里 文雄	日田市住民代表（おおやま西峰自治会長）	大山振興局	出席
9	長尾 善太郎	日田市住民代表（おおやま都築自治会長）	大山振興局	出席
10	黒川 今朝光	日田市住民代表（おおやま烏宿自治会長）	大山振興局	出席
11	矢幡 俊典	日田市住民代表（おおやま清流自治会）	大山振興局	出席
12	中嶋 繁	日田市住民代表（おおやま南部自治会長）	大山振興局	出席
13	増井 秀信	日田市住民代表（出口自治会）	天瀬振興局	出席
14	松原 喜美子	おおやま南部自治会	大山振興局	出席
15	柿本 真次	大山すみい会 事務局長	大山振興局	出席
16	石和 徹也	大分県 日田土木事務所 所長	河川管理者（赤石川）	代理出席
17	平山 周作	独立行政法人 水資源機構 筑後川局 局長	ダム管理者（大山ダム）	出席
18	熊井 教寿	国土交通省 筑後川河川事務所 総括地域防災調整官	河川管理者（筑後川）	代理出席
19	宮本 浩	国土交通省 筑後川ダム統合管理事務所 事務所長	ダム管理者（松原・下笠ダム）	出席

（事務局）

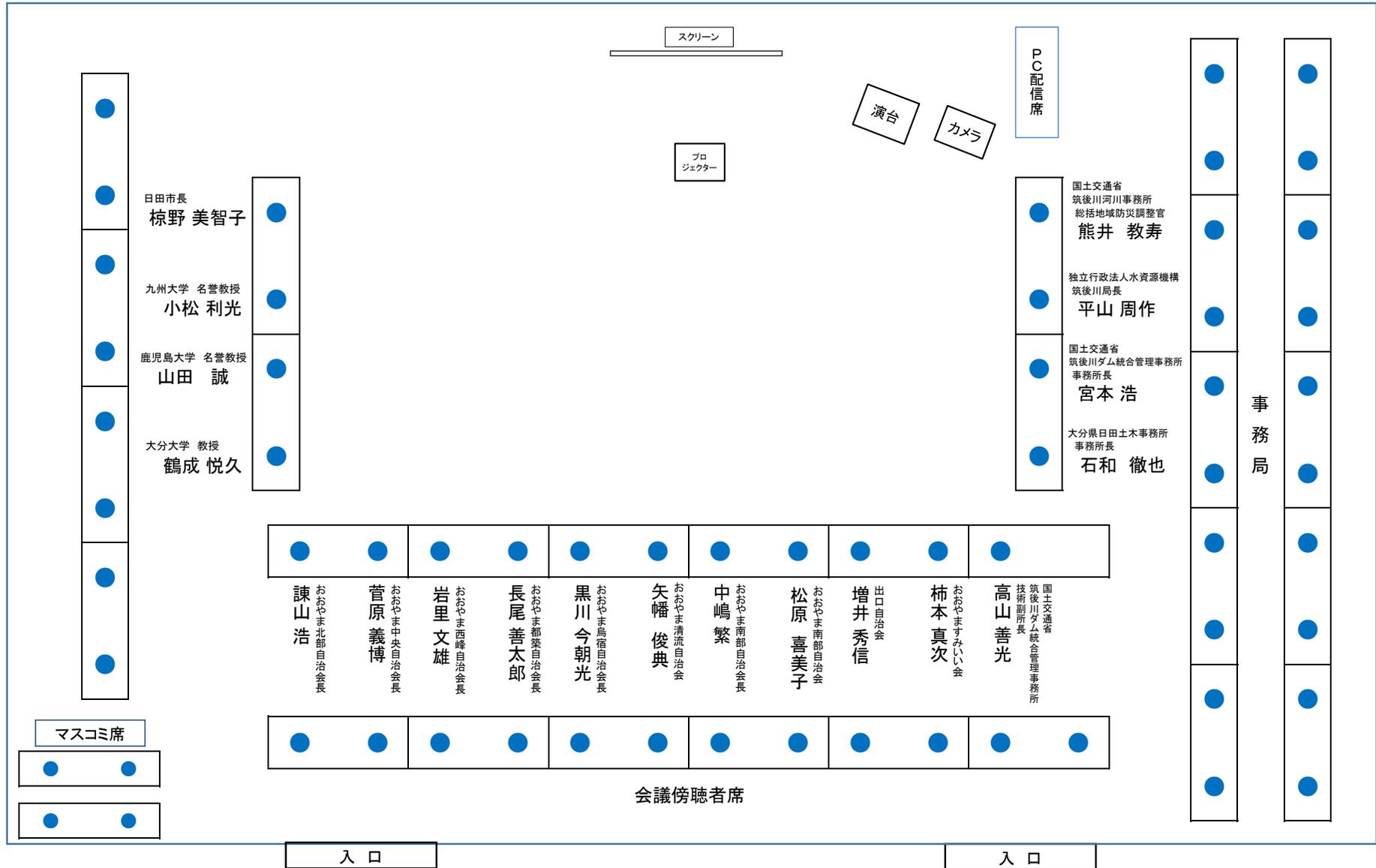
国土交通省 筑後川河川事務所

国土交通省 筑後川ダム統合管理事務所

第4回 松原・下釜・大山ダムとともに水害に強い地域づくりを考える意見交換会

座席表

開催日時 令和6年6月3日(月) 15時～
開催場所 日田市役所 本庁舎7階 大会議室



意見交換会の概要

【開催趣旨】

- 令和2年7月、筑後川流域では記録的な豪雨により各地で浸水被害が発生。下釜ダムでは、「緊急放流」を実施。
- 幸い、松原ダムが緊急放流とならなかったため、松原ダムの直下流では河川氾濫による浸水被害は発生していない。
- 世界中の各地で、地球温暖化に伴う洪水の激甚化、計画規模を超える洪水の発生等、水害のリスクが大きく高まっている。
- このような状況の中、水害から地域にお住まいの方の生命や財産を守っていくため、地域と学識者、河川管理者、ダム管理者等が一体となった、「松原ダム・下釜ダム・大山ダムとともに水害に強い地域づくりを考える意見交換会」を令和3年度より設立。
- 第2回意見交換会より、ダム下流の河川環境の現状や課題についても意見交換している。
- 第3回意見交換会では、避難行動に繋げるための様々な取組について意見交換を行った。

■これまでの開催経緯

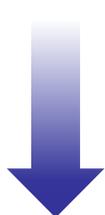
令和4年 3月30日



令和4年12月19日



令和5年10月10日



令和6年 6月 3日

第1回 意見交換会 議事

- ・最近の九州における気候変動状況等について
- ・避難につながる取り組みについて
- ・次回開催について

第2回 意見交換会 議事

- ・ダム下流の河川環境について
- ・地域防災力の向上について
- ・情報提供

第3回 意見交換会 議事

- ・令和5年7月洪水について
- ・避難行動に繋げるために
- ・情報提供
- ・自治会での防災に関する取組状況について

第4回 意見交換会(今回)



第3回 開催状況